

TTC ゆった〜り山行実施記録表

2016年11月25日 報告者:SY

山行名	羅漢寺山と紅葉の昇仙峡 (弥三郎岳、白砂山に登る) [1058m/山梨県]				
実施日	平成28年11月23日 (水/祭) 日帰り ハイエース				
天候/参加人員	天候:曇(時々日差しあり) レベル:★☆☆ 参加人員:8名(申込み10名)				
パーティスタッフ	GL/計画:、SL:、写真:、会計:、救護:、 スタッフ名削除				
参加メンバー	参加綾氏名削除				
費用 一人当たり 6,400円 カンパ、212円	【内訳】 ハイエースレンタル料:16,848円、ドライバー謝礼:18,000円、 燃料代:90×(300+50)/5=6,300円、高速料金:(相模湖〜甲府昭和)2,320×2=4,640円 ロープウェイ:650×8=5,200円、合計=50,988円、6,400×8=51,200円、 51,200-50,988=212円				
歩行/行動時間		歩行時間	休憩時間など	行動時間	行動時間比(実行/計画) 歩行時間比(実行/計画)
	ガイドブック	3:30			
	計画	4:35	2:15	6:50	
	実行	4:25	2:05	6:30	
実行コースタイム記録					
<p style="text-align:right;">0.45 0.20 0.20 0.20</p> <p>ヨ一カド一前===相模湖IC===談合坂SA===甲府昭和IC===金桜神社===登山口.....休憩.....パノラマ台.....弥三郎岳.....</p> <p>6:15 7:07 7:15 7:25 8:10 8:50(トイレ)9:05 9:10 9:15 10:00 10:05 10:25 10:35 10:55 11:00</p> <p style="text-align:center;">0.30 0.30 (0.08) 0.15 1.25</p> <p>パノラマ台(昼食).....白砂山.....パノラマ台-----ロープウェイ下車.....仙娥滝.....長潭橋===甲府昭IC===談合坂SA</p> <p>11:20 12:00 12:30 12:43 13:13 13:25 13:33 14:00 14:15 14:20 15:45 15:55 16:29 17:10 17:35</p> <p>=====相模湖IC=====本厚木</p> <p>17:45 18:50 頃</p>					
コースの概要、特記事項、反省事項等					
<p>当初参加者10名だったが1名キャンセル、前日の晩1名風邪でダウン、8名の少人数での実行となった。三日前の天気予報は曇、降水確率20%で実行決定の連絡を行ったが、翌日の予報は降水確率60%、迷ってしまったが、前線を伴った低気圧が関東に近づく時間を計算、少なくとも午後3時までは降らないと予測した。談合坂を過ぎるとフロントガラスに雨粒が当たってきたが、「皆さん笹子トンネルの向こうは晴れていることが多いからね」と希望的観測を言う。案の定トンネルを抜けると高曇りで薄日も差していた。</p> <p>金桜神社奥社でトイレを借りようと思ったら鍵が掛かっていて入れない、ちょうど神社関係者らしき人が来て鍵を開けてくれた。登山口の広場で準備体操をして出発、舗装道路をしぼらく登る、以前来た時は砂利道だったがもう十数年前のこと、世の中進んでいるなあとは感心をした。今日は若いKさんとSさんが加わって華やかなゆったり山行になった。雑木林の道はやがて砂利道になり、パノラマ台に到着、八雲神社の赤い神殿が眩しい。その前側には高松宮様のお手植えのかえでが枯葉を付けている、今年は紅葉する前に枯れてしまったとのこと。小休止の後、弥三郎岳へ向かう、頂上は花崗岩のお饅頭を三つ置いたような所で三つ目が頂上で狭い、滑ったら谷底まで行きそうである。パノラマ台へ戻り茶店できのこ汁(300円)を頂き昼食、75歳の女将さんが自分で山へ入り採ってきたとの事、とても美味しい、女将さんのおしゃべりもお弁当のおかずにしてゆっくり過ごし、横の祠には男性と女性のしんぼるがひとつの切り株になったご神体をうやうやしくおがんでいた女性陣、子宝に恵まれるご神体だそうだが、70歳過ぎて子宝に恵まれたら世界中の新聞に載るだろうなどとつまらない事を考えながら白砂山へ向かう、どんどん坂を下って行き、以前来たときこんなに下ったかなあと少し心配しながら落ち葉で埋まった登山道を歩き、登りかえした所が頂上、花崗岩が風化して白砂になったのが頂上だった。端に行くとも滑り落ちるようで怖い所である。パノラマ台からロープウェイで下り、昇仙峡を歩いたが途中の店でくるみの殻付を皆さん購入、家へ帰って誰が割るの、ああ旦那がかわいそう、きっと苦労するね、私知らないよ。仙娥滝からは溪流沿いを歩き、紅葉には少し遅かったがまだかえでが赤く染まっていて最後の見ごろである。たいくつしのぎに何とか石と書いてある名称板に「あれは大砲に見えないよね」とか「猫に見える?」などといちいち評価しながらバスの待つ長潭橋に到着、今日一日の日程を終えた。雨も降らず時々薄日も差して、頂上からの展望もまずまずで、富士山が雲の中だったことが悔やまれるが、奥秩父の金峰山や瑞牆山や南アルプスが見えたのでまあまあ良かったと思う。明日は大雪の予報、一日違いで助かったと胸をなでる。</p> <p>参加者のみなさんご協力ありがとうございました。</p>					